

崇城大学 学部・学科の教育研究上の目的

本学は、各専攻分野および多様な分野の基礎的・専門的知識、汎用的技能、ならびに豊かな人間性・社会性の修得を踏まえて、各専攻分野の抱える課題を発見し、解決する実践的能力を涵養することに重きをおいた教育を展開する。それを通じて、エンジニア・クリエイター・スペシャリストとして社会で活躍する人材を育成することを教育研究上の目的とする。

- (1) 工学部機械工学科は、幅広い教養ならびに機械工学の専門知識および工学的汎用技術を教授し、科学的根拠に裏打ちされた論理的思考力を駆使した課題発見とその解決策の提案ができる工学的素養を培う、“ものづくり教育”を展開する。それを通じて、持続可能社会の実現に向けてグローバル・ローカルな視点から社会貢献・情報発信できる、高い実践力と豊かな人間性・社会性を兼ね備えた問題解決型の機械エンジニアを育成することを教育研究上の目的とする。
- (2) 工学部ナノサイエンス学科は、ナノサイエンス分野の基礎的・学際的で高度な専門知識および技能の修得を踏まえて、ナノサイエンス分野の抱える課題を発見し、解決する能力を、研究活動を通じて教育する。これにより、ナノテクノロジーを担う技術者・研究者・企業人に望まれる専門知識と技能、ならびに豊かな人間性・社会性を兼ね備えた人材を育成することを教育研究上の目的とする。
- (3) 工学部建築学科は、幅広い教養ならびに建築が有する各分野（設計・計画、歴史・意匠、環境・設備、構造、生産）の基礎的・専門的知識および技能の修得を踏まえて、人間およびその集合体である社会や自然がつくる環境との調和・共存を常に考えつつ、建築物が建ち上がる現実の場において、課題を発見・解決できる能力を涵養することに重きをおいた教育を展開する。それを通じて、豊かな人間性・社会性を備え、建築分野において活躍できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。
- (4) 工学部宇宙航空システム工学科は、「基礎重点・実学重視」を教育の基本に、航空宇宙分野において必要とされる資質・能力を涵養することに重きをおいた教育を展開する。それを通じて、論理的思考力、協調性、豊かな人間性や国際的社会性を備

え、航空宇宙産業と航空運輸業界ならびに広範な関連産業の発展に寄与できる、（１）航空宇宙機に関わる専門知識ならびに工学的素養・技能を有するエンジニア・スペシャリスト、（２）航空工学の専門知識をバックグラウンドに、高い問題解決力と航空機の安全運航を確保するための技能を有する航空整備士・エンジニア、（３）安全運航を追求し危機管理能力とリーダーシップを有するエアラインパイロットを育成することを教育研究上の目的とする。

（５） 芸術学部美術学科は、複雑な情報社会である現代社会において、自然界の森羅万象を成り立たせている本質と仕組み、現象を主観と客観のバランスを保ちながら観察し、かつ感覚的にとらえ表現へと昇華させる感性豊かな人材を育成すること、ならびに、デジタル情報化社会に相応しい表現のあり方を模索し、基礎造形力と伝統的な美術の学びを土台にした新しい表現への挑戦を担うことができる豊かな表現力を持った人材を育成することを、教育研究上の目的とする。それを通じて、現代社会において知性と感性を再統合することを目指す。

（６） 芸術学部デザイン学科は、論理的思考力と豊かな感性に基づき、多角的視点と協働性を養い、複雑化する社会問題をデザインプロセスを通して解決し、より良い未来の創造に寄与する人材を育成することを教育研究上の目的とする。

（７） 情報学部情報学科は、（１）人工知能・マルチメディア・プログラミング・情報通信ネットワーク・電子デバイス分野における最新の情報技術を支える人材、（２）優れた論理的思考力とコミュニケーション能力によって情報技術社会を発展させる人材、（３）豊かな人間性・社会性を備え、しなやかな知識を活かして、地域や社会の問題解決に応用できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

（８） 生物生命学部生物生命学科は、生命科学、生物工学、環境科学、ならびに食品科学または医薬学・医用工学の各分野における課題を柔軟に解決する上で求められる専門知識と技能の修得を踏まえて、科学的根拠に基づいて論理的に思考・討論し、課題を解決に導く実践的な能力を涵養することに重きをおいた教育を展開する。それを通じて、技術者・研究者に望まれる高い専門性と健全な倫理観、ならびに豊かな人間性・社会性を兼

ね備えた人材を育成することを教育研究上の目的とする。

- (9) 薬学部薬学科は、幅広い教養ならびに基礎薬学、医療薬学および衛生薬学の知識を教授し、国際化・情報化への対応能力を育み、医療における様々な問題に対する科学的根拠および論理的思考に裏打ちされた問題解決能力を涵養することに重きをおいた教育を展開する。それを通じて、医療・保健・創薬などいずれの分野に進んでも医療の進歩やニーズを的確に捉え、患者志向の薬の専門家として広く社会に貢献・発信できる、高い資質と健全な倫理観、継続的な学習姿勢を身につけた人材を育成することを教育研究上の目的とする。特に、患者・地域の人々・他の医療従事者から信頼され、医療現場で率先して活躍できる実践能力の高い人材を育成することを目指す。